

# 一般会計補正予算審査特別委員会報告

委員長 池田 宏

**歳入歳出それぞれに9億1千469万5千円を追加し、  
歳入歳出予算総額をそれぞれ72億8千22万円として、  
賛成多数で可決決定しました**

## 審査内容

### 歳入

国土交通省の建築物耐震一時診断補助金129万8千円、および町道赤湯線の災害復旧費の採択が見込まれるので723万6千円計上。大規模発電用施設立地地域振興事業補助金3千万円計上、可燃ごみ収集事業に充当。青線の土地売り払い収入226万8千円、3件分。財政調整基金より2億6千736万2千円を繰り入れ。(財調残高見込み額は16億5千333万7千円。)減債基金から2億5千600万円繰り入れ。(内訳は公債費の元金2億2千万円、利子3千600万円)。観光事業会計貸付金返還金3億5千万円。

### 歳出

一般管理費の人件費は収入役の廃止および他会計との人事異動による人件費減。財産

管理費の工事請負費は庁舎裏の駐車場ポンプ等の修繕430万円増。埋設農業調査費200万円は埋設位置が中子の埋め立て場のため金属類が多くレーダー調査が不可能なため水質検査に切り替えた減。介護保険事業費は介護給付費に充当するための繰り出し金の増。観光施設費は観光事業会計補助金9億514万9千円。(内訳は企業債元利償還金4億4千378万8千円、一般会計返還金3億5千万円、山頂リフト等建設時債務負担1億2千795万1千円、リフト等オーバーホール費1千659万円。)道路工事で消雪・防雪施設整備のため1千900万円増。大島南沢の上流部の用地取得が未済のため下流部工事が未施工のため700万円の減。湯沢駅東西口広場の除雪費300万円増。浅貝プールの撤去費の残240万円減。赤湯線の復旧事業費1千290万3千円増。

主  
な

質  
疑

- ㉟：観光事業会計との3億5千万円のやり取りで、金銭の移動はあるのか。
- ㉠：移動する。
- ㉡：児童公園の借地料6万6千円増の理由。
- ㉢：2箇所借りている。課税標準額増による増。
- ㉣：道路維持費の500万円減の理由。
- ㉤：道路新設改良費は1千900万円増えているが、その財源振替と考えてもraithたい。